令和２年１月３１日	
資　料　提　供	
担　当　課	那賀振興局農業水産振興課 （那賀地方病害虫 防除対策協議会　事務局）
担　当　者	農業水産振興課　北原、山中 林務課　西原、和田
電話（直通）	農業水産振興課　0736-61-0025 林務課　0736-61-0015

～トップブランドの果樹産地を守る～
クビアカツヤカミキリ対策研修会を紀の川市で開催します

趣旨

もも、すもも、うめ、さくらなどの樹を食い荒らす特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の被害が、本県で初めて、隣接する伊都地方（かつらぎ町）のもも園地で確認されました。

当那賀地方は、３００年以上の歴史を誇る、全国屈指のトップブランドのももを育む西日本最大の産地であり、春以降に成虫が飛び出し拡散すると産地全体が壊滅的な被害を受けます。

もも、すもも、うめ等の生産者は各自の園地を点検していただき、早期発見に努め、地域全体で被害拡大を食い止めることが大切です。

そこで、本虫の生態や被害実態、対処方法や支援策等について知見を深め、地域ぐるみで被害拡大を食い止めるため、もも、すもも、うめの生産者並びに森林所有者、さくらを植栽している方を対象とした研修会を開催しますので、皆様のご参加を是非お願い致します。

１　日　　程　①令和２年２月１９日（水）
紀の川市総合センター桃山会館（紀の川市桃山町調月３８４）
第１部　１３：００～　第２部　１８：３０～
②令和２年２月２０日（木）
粉河ふるさとセンター（紀の川市粉河５８０）
第１部　１３：００～　第２部　１８：３０～
※講演は同じ内容ですので、ご都合の良い時間におこしください。
１回の研修時間は１時間３０分程度を予定しております。
事前申込は不要です。

２　研修内容　「クビアカツヤカミキリの被害実態、発生時の対処法と支援策について」
説明者　和歌山県農業環境・鳥獣害対策室
果樹試験場かき・もも研究所
那賀振興局農林水産振興部

３　主　　催　那賀地方病害虫防除対策協議会
（紀の里農業協同組合、紀の川市、岩出市、和歌山県農業共済組合、
和歌山県農業協同組合連合会、県果樹試験場かき･もも研究所、
県農業試験場、県農作物病害虫防除所、那賀振興局）

※参考　和歌山県のもも産出額　６１億円（全国３位）
（平成２９年生産農業所得統計より）
那賀管内のもも産出額は、県全体の約８割

モモ・スモモ・ウメ・サクラ　枯死の危機
あなたの近くにいるかもしれない！

- **クビアカツヤカミキリの被害が、かつらぎ町内のモモ園地で発見されました**
- **高い飛翔能力があり、モモ・スモモ・ウメ・サクラの樹に被害が出てもおかしくありません**
- **発見が遅れると、産地全体が壊滅的な被害を受けます**

－研修会を開催し、クビアカツヤカミキリを見つける方法と対策について説明します－

モモ・スモモ・ウメの栽培、サクラを植栽されている方はご参加ください！
（被害拡大を食い止めるには、地域全体で取り組む必要があります）

1．日程　①令和2年2月19日（水）
紀の川市総合センター桃山会館（紀の川市桃山町調月３８４）
第１部　13:00～　　第2部　18:30～

②令和2年2月20日（木）
粉河ふるさとセンター（紀の川市粉河５８０）
第１部　13:00～　　第2部　18:30～

※講演は同じ内容ですので、ご都合の良い時間におこしください
※１回の研修時間は１時間30分程度を予定しております
※事前申込は不要です

2．内容：**「クビアカツヤカミキリの被害実態、発生時の対処法と支援策について」**
説明者　和歌山県農業環境・鳥獣害対策室、果樹試験場かき・もも研究所
那賀振興局農林水産振興部

食害を受け株元にたまったフラス

食害により枯死したモモの樹
（栃木県農業試験場提供）

クビアカツヤカミキリ成虫
（大阪市立自然史博物館提供）

那賀地方病害虫防除対策協議会　（事務局：那賀振興局農業水産振興課　TEL0736-61-0025）

構成機関：JA紀の里、紀の川市役所、岩出市役所、和歌山県農、和歌山県農業共済組合、県果樹試験場かき･もも研究所、県農業試験場、県農作物病害虫防除所、那賀振興局